

令和4年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

地域産業の担い手であると同時にグローバル社会にも対応できる人材を育成する教育活動を展開し、地域に信頼され、誇りとされる学校をめざす。

1. 基本的生活習慣やルール・マナーなどの規範意識を身につけた自律できる生徒を育成する。
2. ものづくり教育・工業教育の基盤ともいえる基礎学力を身につけた生徒を育成する。
3. 教職員の資質向上を図るとともに生徒のモチベーションを高め、ものづくり教育を推進する。
4. 社会人・職業人として自立し、豊かな心と人権感覚をもった、社会ひいては世界に貢献できる人材を育成する。

2 中期的目標

1 豊かな人間性の育成・社会性の醸成

(1) 人権感覚豊かな心の育成及び社会の秩序・ルールを確実に守る規範意識の醸成

- ア あいさつの励行や遅刻をしないなどの基本的な生活習慣を身につけた生徒の育成に努める。
- イ いじめの予防に重点を置き、安心安全な学校づくりに努めるため、学期ごとに生徒に対しアンケートを実施する。
※遅刻数について500台を目標として努力する。(R01 688 R02 584 R03 430)

(2) 美化・清掃活動の強化による規範意識の醸成

- ア 美化・清掃活動に全校で取り組む。
※生徒向け学校教育自己診断の「校内美化」に関する項目における満足度(R01 44.4%、R02 66%、R03 72.6%)は70%以上を維持できるよう努める。

(3) グローバル人材の育成

- ア ものづくりニッポンを海外に発信する素地を作るため、海外の高校生との交流を図り、グローバル感覚を育成する。
※海外の複数の高校との交流を推進する。
※ESDおよびSDGsを意識した教育活動の取組みを推進し、多様な国・校種との交流活性化のためユネスコスクールへの加盟をめざす。

2 確かな学力への取組みと進路保障

(1) 基礎学力の定着を図り、進学希望も含めた様々な進路のニーズに応えるため、「主体的・対話的で深い学び」をめざして授業改善に取り組む。

- ア 外部テスト「基礎力診断テスト」を活用し、基礎学力の充実を図る。
- イ 再編整備計画(工科改編)に基づいて、「PBL学習」を推進する。その際にはESDおよびSDGsの趣旨を意識したものと、「キャリアガイダンス」「総合的な探究の時間」や「課題研究」での全学的な取組みを計画的に進める
- ウ 生徒の自己肯定感や自己有用感の向上と「主体的・対話的で深い学び」のために、実社会において有用な資格の取得を奨励する。
- エ 新型コロナウイルス感染症に係る対応として、ICTを活用した学びの校内体制整備を継続して推進する。
- オ グローバル化や情報化が加速度的に進展する社会で、必要となる語学力(英語)の育成に努める。
※外部テスト「基礎力診断テスト」における最下位層の人数割合を減少させる。
※生徒向け学校教育自己診断の「学力の向上」に関する肯定度(R01 68.6%、R02 78%、R03 82.2%)は80%以上を維持できるよう努める。
※資格試験の受験者数(H30 742人、R01 649人、R02 709人、R03 636人)を増やし、合格率(R01 57.8%、R02 63.8%、R03 62.7%)を令和6年度には65%をめざす。
※英語技能検定にチャレンジする生徒数(R1 0名、R2 3級8名・準2級5名 延べ13名、R3 3級15名・準2級10名・2級2名 延べ27名)を、令和6年度には延べ30名をめざす。

(2) 同僚性を高め、積極的に資質向上に取り組む。

- ア 授業アンケート及び相互の授業見学を通して、授業力の向上をめざす。
- イ 各系や教科を中心に経験年数の少ない教員等の学習会や技術力向上等の研修会を開催し、授業力の向上をめざす。
- ウ 英語および数学、実習での少人数展開授業を実施し、生徒の学力定着を保障していく。
- エ 会議等のあり方を検討するとともに、全校一斉退庁日やノークラブデー(部活動休養日)を明確にし日々の定時退庁に努めるなど働き方改革を推進。
※生徒向け学校教育自己診断の「授業はわかりやすく楽しい」肯定度(R01 57.8%、R02 74%、R03 78.4%)を令和6年度には80%以上にする。
※教職員向け学校教育自己診断における「教育活動全般にわたる評価と改善」肯定率(R1 52%、R2 65%、R03 65.7%)を令和6年度には70%以上にする。

(3) 生徒の自己実現への支援

- ア 人権教育・教育相談体制の充実並びに支援教育コーディネーター等による要配慮生徒へのサポート体制の充実
- イ 3年間を見通した進路指導の充実
- ウ 保健・安全・衛生管理に関する指導の徹底を図り、食物アレルギー等に係る事故防止や熱中症、新型コロナ等の感染症、食中毒の予防に努める。
※入学時には中学校訪問等で生徒情報の把握に努め、SCや校長マネジメント費を活用したSSWとも連携し要配慮生徒へのサポートを行う。
※生徒向け学校教育自己診断の「進路指導関連」項目の肯定率(R01 83%、R02 87%、R03 89.9%)を令和6年度には90%以上にする。
※3年間を見通した進路・キャリア指導の充実を図り、就職一次内定率(R01 82.4%、R02 77.8%、R03 84.2%)は80%以上を、年度末内定率については100%を維持できるよう努める(R01 100%、R02 100%、R03 100%)。

3 ものづくり・地域連携等を通じたキャリア教育の充実と開かれた学校づくりを進める

(1) 地域産業連携重点型校として、ものづくりを通して地域貢献と保護者との連携により地域に根ざした学校づくりを推進する。

- ア 生徒による校内企業「城工房」や「キャリアガイダンス」「総合的な探究」「課題研究」における企業連携等により、地域や地元企業の協力のもと、さまざまな活動を推進する事で地域貢献に努めるとともに地域に根ざした学校づくりをめざす。
- イ 保護者と学校が一体となった学校づくりを行う。
- ウ 小中学校や行政機関・大学と連携した小中学生対象の「ものづくり教室」や「出前授業」等を行い生徒の外部交流への参加や発表の機会を増大する。
※地元企業との連携と地域へのさらなる情報発信をめざして設立した「城工メッセ」(地元企業紹介イベント等)の充実・発展を図る。
※保護者のものづくり教育への理解を深めるために、PTAと連携した事業に取り組む。
※成果発表の場やさまざまな競技会などへの参加回数及び「ものづくり教室」や「出前授業」の実施回数(R01 32回、R02 0回、R03 25回)を増やす。

(2) 学校の教育活動内容等をタイムリーに府民へ情報発信し、学校PRに努める。

- ※学校説明会参加者数、中学校教員向け説明会の参加者は延べ350人以上をめざす。(R01 343人、R02 330人、R03 282人)
※保護者向け学校教育自己診断「家庭と学校の連携や教育情報の提供」肯定率を令和6年度には80%以上をめざす。(R01 78%、R2 77%、R03 79.5%)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【学習指導等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(生徒) 学校満足度は80.9%と初めて80%を超え、高い満足度となった (R03 76.3%、R02 78.6%、R01 69%)。授業では「入学してから学力が身についた」80.0% (R03 82.2%、R02 78%、R01 58%)、「わかりやすく楽しい」79.5% (R03 78.4%、R02 74%、R01 58%)と着実に向上している。(保護者)「授業が分かりやすく楽しいと言っている」71.8% (R03 69.3%、R02 63%)と70%を超えている。資格・検定等の指導の満足度(生徒)89.4%、(保護者)90.2%と、高い評価を得ることができていることとあわせて、学習面での成果が表れていることが要因と思われる。今年度新設の「1人1台端末を効果的に活用」については、81.4%と活用できていることがうかがえる結果となった。今年度新設の「授業などでSDGsについて話す機会がある」については、84.6%と高い数値となった。ものづくりの学校として地域・社会に貢献する事とSDGsへの取組みの意義や、その発展形であるユネスコスクールへの登録チャレンジの意義を生徒も理解し取組んでいることがうかがえる。今後も、授業や教科指導、資格・検定指導や生徒のアウトプットを意識した指導等について改善・充実をはかり、満足度を維持・向上させていく。 <p>【生徒指導等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(生徒) 生活面では「あいさつをしている」93.8% (R03 92.5%、R02 91.5%、R01 91%)と向上した。各学期始業・終業式で「質の高いあいさつをしよう」と働きかけを継続したところ、生徒の自覚が高まり成果が出た。「遅刻をしないように意識している」は3年連続96%を維持できている。遅刻指導により生徒の意識が高まっている。「先生はルールを守らない生徒等への注意をしている」89.4% (R03 88.8%、R02 88%、R01 86%)、「気軽に相談できる先生がいる」82.1% (R03 77.3%、R02 71%、R01 66%)や、いじめに対する教員の対応では89% (R03 87.6%、R02 83%、R01 76%)と生徒相談・支援面での評価も向上している。「先生の指導には納得できる」74.3% (R03 74%、R02 74%、R01 70%)であった。(保護者)「指導方針に共感できる」77.9% (R03 76.7%、R02 76.2%)であった。進路指導やキャリア教育面については、(生徒)「自分の将来について考える機会は充実している」90.6% (R03 80%、R02 79%、R01 66%)と高い評価を得た。三重大学によるキャリア出前授業や総合的な探究の授業における地元企業への訪問などの新しい取組みも要因と考えられる。進路指導では90.6% (R03 89.9%、R02 87%)と高い水準を維持できている。生活面での指導等については、教職員が一丸となって指導に取り組んでいる成果である。 <p>教育相談の面では(教員)「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている」については、63% (R03 80.6%)と17ポイント減少した。質問に「あなたは」が無く、学校の体制(この場合の指標はR02 55%)と混同したことや、今年からWebでの回答としたことで回答数が減少した可能性があることなどの要因が考えられる。今後は質問項目についても改善すると同時に、同僚性を向上させ、学校全体としても納得感のある生徒指導・支援を行っていく。人数が少ない女子生徒に対してもカウンセリングマインドを取り入れた指導に努め、新入生女子生徒に対しての入学当初の先輩との懇談会開催や教育相談、ケース会議等を実施していく。また女子更衣室の整理などの環境面の整備にも取り組んでいきたい。進路指導面では高い水準を維持できている。今後は昨年度から力を入れて取り組んでいる企業連携事業などを通じてキャリア教育をさらに充実させていく。</p> <p>【学校運営等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(生徒)「校内の清掃は行き届いている」75.4% (R03 72.6%、R02 66%、R01 44%)と2.8ポイント向上。中期目標としていた数値を維持向上できた。コロナ禍もあり、今年度は洗面台の自動蛇口などの整備をしたことや、保健部を中心に毎朝の放送による消毒等の呼びかけや美化週間の設定などのほか、生徒会のペットボトルキャップ回収の取組みも清掃に対する取組み意識向上につながったと思われる。生徒の意識向上による目標維持・向上に向け更に工夫をして取り組んでいく。 ・(生徒)「体育祭や文化祭、部活動などに積極的に参加している」が90.6% (R03 86%、R02 83%、R01 77%)と90%を超えた。コロナ禍も3年めを迎え教育活動への制限が緩和されたことで体育祭と文化祭が開催できたことが高い生徒肯定度につながったと思われる。学校行事・部活動は有意義なものであることを再確認し、より効果的な活性化・充実化の方法を工夫していく。 ・(教員) 設問6の「教育相談体制」については73.9%となっている。学校独自予算でのSSW雇用から派遣事業へ移行していただいたことで回数が大幅に増え(10回→24回)、また保健室横に生徒相談やカウンセリングをできる部屋として整備・活用がすすんだ。今後もよりよい体制づくりを進める。 ・(保護者)「教育情報について、提供の努力をしている」82.6% (R03 79.5%、R02 77%)、「家庭と学校の連携がしっかりしている」は80.8% (R03 75.3%、R02 77%)であった。(教員)「必要な情報について周知に努めている」82.6% (R03 76.1%、R02 81%)となっている。メール登録による一斉配信体制を構築し運用しているほか、SNSの運用も開始し、学校Webページもリニューアルした。少しずつだが保護者の肯定度の向上につながっている。今後も運用方法や内容について検討していく。 	<p>第1回(令和4年6月3日)</p> <p>○学校経営計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めざす学校像について10年前の学校と比較して、すごく雰囲気が良くなっている。先生の意識が変わったことで生徒の意識も変わってきたように思う。授業中に寝ている生徒も少ない。 ・ユネスコスクール登録に向けて、3年間の成果としてPDCAはできているように思う。もっとこのチャレンジについてPRすればよいのでは。 ・資格検定に力を入れてほしい。英検も成果を出している。ヤングケアラーについても取り組んでいる。引き続き取り組みをしてほしい。 ・たくさんの取組みが、夢があって良い。 <p>○新入生アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに仕事への夢がないと感じる。専門性のある学校は夢があると中学生に向けて説明してほしい。 ・受験生の保護者は、ものづくりよりも学校全体の雰囲気がどうかを見ている。中学校が受験生に向けて目標をしっかりと持たせられるような特色を出してほしい。 ・普通科と迷った生徒が令和3年度新入生と比較して5%増えている。工業高校の就職率・離職率が中学校や保護者に浸透していないような気がする <p>○PBL・GIGAスクールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育をもっと深めていくには、地域企業と連携して、インターンシップに積極的に行くべき。働く意義をもっと伝えてほしい。 ・進学率・就職率を上げることも大事だが、離職率を下げるのが大事。 <p>第2回(令和4年11月11日)</p> <p>○学校経営計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定通り頑張っていると思う。この調子で進めて欲しい。 ・エジプト以外の国際交流先も含めて、国際化を広げてほしい。 ・地域連携について、大東市等の連携は進められているが、東大阪市に立地している学校として東大阪市との連携等も盛り上げてほしい。地域としても頑張って支援していく。 <p>第3回(令和5年2月9日)</p> <p>○学校経営計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科での取組みが素晴らしいと感じる。ユネスコスクールへの取組みも世界のことを知ることで生徒の視野が広がって良い。 ・PBL学習がここ数年のテーマとなっていると思う。先生方のファシリテート力に期待したい。PBLを通して生徒全員が主体者となるような授業作りを進めて欲しい。 ・この3年間で大きく変化していると感じる。生徒も生き生きしているように感じる。 <p>○学校教育自己診断について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部評価もしっかりされていると思う。 ・教員のカウンセリングマインドの数値は、低いよりは高い方が良いので、先生方の気持ちの向上をしてほしい。 ・保護者としては子供から学校の取組みのことは聞けないことが多い。もっと保護者に知ってほしいと思う。地元の方からも朝の先生と生徒のあいさつする風景を見て良い評価をもらえたことがある。とても嬉しく感じた。 <p>○全体を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコスクールチャレンジ等の国際的な取組みを評価したい。正式認定を楽しみにしたい。 ・PBLの成果もアウトプットできるところまで来たのは成果。課題研究発表会を見学して、生徒が自信を持って発表されたのが、生徒の内面的変化になっていると感じる。 ・工科高校のことをもっと知ってほしいと思う。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R3年度値]	自己評価
1 豊かな人間性・社会性の醸成	<p>(1) 人権感覚豊かな心の育成、社会の秩序・ルールを守る規範意識の醸成</p> <p>(2) 美化・清掃活動の強化</p> <p>(3) グローバル人材の育成</p>	<p>(1) ア・生徒会、部活動部員等生徒を主体とした「あいさつ運動」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 遅刻の撲滅をめざし、生活指導部と学年等の連携による早朝登校指導の推進 3年間を見通した人権ホームルーム計画の策定・実施 新入生オリエンテーションで部活動紹介を実施。部活動部員からの勧誘等で部活動加入を奨励 「図書部」を活用した、生徒への啓発活動活性化による生徒読書量の増加 <p>イ・教員間の情報共有を密にして、いじめの予兆を察知するとともに、予兆段階から生活指導上の厳しい指導を実施</p> <p>(2) ア・保健部、学年、生徒会等の連携で美化・清掃活動の推進</p> <p>(3) ア・海外高校生との交流実施</p> <p>イ ESD および SDGs を意識した活動を推進することで、地域や世界への関心を高めグローバル感覚を育成</p>	<p>(1) ア・生徒向け学校教育自己診断「あいさつ」肯定的回答 90%以上を維持[92.5%]</p> <ul style="list-style-type: none"> 総遅刻数 500 台をめざす[430] 生徒向け学校教育自己診断の「人権教育の充実」肯定的回答 80%を維持 [81%] 5 月末段階の部活動加入率 70%を維持 [71%] 年間図書館来館者数の維持、貸し出し冊数の増加[R03 2,556 人、190 冊]と図書室だよりの定期的な発行[10 号] <p>イ・学年連絡会議での情報交換と「いじめアンケート」の年 2 回の確実な実施。[2 回]生徒向け学校教育自己診断「いじめ関連」肯定率 85%以上[87.6%] 及び教職員向け学校教育自己診断「いじめ関連」肯定率 85%以上を維持する[88.1%]</p> <p>(2) ア・生徒向け学校教育自己診断「校内美化」満足度 70%以上を維持[72.6%]</p> <p>(3) ア・交流回数 2 回以上[1 件]</p> <p>イ・各教科・各系や特活部での SDGs を意識した授業や取組の実践[取組件数 5 件]</p>	<p>(1) ア・「あいさつ」肯定的回答 93.8% (◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> 遅刻数 3 月末で 566 回(○) 人権だよりの配布やいじめアンケート Web 回答の導入などで充実を図っている。「人権教育の充実」肯定的回答 90.6% (◎) 部活動加入：加入率 74.7% (◎) 図書館来館者数 3061 人、貸出冊数 134 冊。図書館だより 22 号発行。SDGs 関連を積極的に発信し公立大学大阪の教授からも良い取組みと評価を受けた。(◎) 毎週学年連絡会議で情報交換できている。要支援生徒の把握と教育相談も、組織的に取り組んでいる (○) いじめアンケートは 2 回確実に実施。 自己診断での生徒肯定率 89.0%、教員肯定率 89.1% (◎) <p>(2) ア・「校内美化」満足度 75.4% (◎)</p> <p>(3) ア・エジプトの工業高校とのオンライン交流を 2 回、韓国の工業高校と本校で交流で 2 件実施できた (○)。今後、カンボジア NIPC 校とオンライン交流も予定している。</p> <p>イ・SDGs の取り組みは、 国語科: 2 年生国語総合「イースター島になぜ森林が無いのか」 保健体育科: ①健康と環境のかかわり②ノーマライゼーション・バリアフリー・UD の考え方と社会、③LGBTQ について・ジェンダーとセックスについてなど 家庭科: ①エチオピアのアイシャの物語 (貧困で水汲みに 5 時間) ②新聞から SDGs に関連した記事を検索 地歴公民科: ①現代社会: 環境問題、エネルギー問題、貧困問題、ジェンダー、福祉、教育 ②地理総合: 貧困問題、食料問題、街づくり、気候変動 芸術科: 書道で SDGs の項目を文字に起こす授業 生徒会: ①ウクライナ募金②夏休みフリースクール開催 (3 日間) 図書部: 校地北側通路における啓発パネル設置など 7 分掌で 12 件 (◎)</p>

府立城東工科高等学校

<p>2 確かな学力への取組みと進路保障</p>	<p>(1) 基礎学力の定着と「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業改善の取組み</p> <p>(2) 同僚性を高め、積極的に資質向上に取り組む。</p> <p>(3) 生徒の自己実現への支援</p>	<p>(1) ア・外部テストの全校実施と学力向上への活用 ・生徒の学力向上意識の高揚</p> <p>イ・SDGsを意識したPBL学習について研究・実践を進める</p> <p>ウ・生徒への資格取得の推奨と講習の充実</p> <p>エ・グループウェアの活用とGIGAスクール端末の活用推進とオンライン授業の体制整備</p> <p>オ・英語検定の受検推奨</p> <p>(2) ア・授業アンケート結果及び相互授業参観に基づき、改善方を検討する</p> <p>イ・経験年数の少ない教員等の学習会や技術力向上の研修会、企業への見学や外部との交流会等を開催し、授業力の向上をめざす</p> <p>ウ・少人数展開教科科目において、担当者同士で授業の進度や深度などの情報交換を行い、生徒の学習定着度を共有し学力向上方策の検討</p> <p>エ・全校一斉退庁日、ノークラブデーを明確にし、取り組む。また学校保健委員会、安全衛生委員会を活性化する</p> <p>(3) ア・支援教育コーディネーターと生活指導部・保健部との連携を強化し、配慮を要する生徒へのサポート体制の充実を図る。またカウンセリングマインドを取り入れた生徒指導力の向上を図る</p> <p>イ・3年間を通じたキャリア教育を計画的に推進し、生徒の自己実現を支援する。全教員が進路指導担当であるという意識を醸成し、面接指導等において進路部と学年を中心に連携を強化</p> <p>ウ・保健・安全・衛生管理に関する指導の徹底を図る</p>	<p>(1) ア・外部テストの結果、1年→2年、2年→3年の経年変化によるD3ゾーンの割合を減少させる[1年27.8% 2年32.8%] ・外部テストの補助教材やWeb教材の活用[新規] ・生徒向け学校教育自己診断「学力の向上」肯定率80%以上を維持[82.2%]</p> <p>イ・各教科・各系で教材開発やPBL導入授業の実施。</p> <p>ウ・資格試験受験者数650人以上[626人]合格率65%[62.7%]</p> <p>エ・各教科や各系でグループウェアおよびGIGA端末を活用した授業や教材研究の実施 ・オンライン授業体制の整備のため教員用端末等の整備を実施する。</p> <p>オ・英語検定の受験者数延べ30名[27名]</p> <p>(2) ア・生徒向け学校教育自己診断「授業はわかりやすく楽しい」肯定率78%を維持[78.4%] ・授業見学週間の年2回実施</p> <p>イ・公開研究授業や校内研修会等を実施5回以上[5回]</p> <p>ウ・教職員向け学校教育自己診断「教育活動全般にわたる評価と改善」肯定率を70%以上[65.7%]</p> <p>エ・一人当たりの平均超過勤務時間数を昨年度より減ずる。[25.9h] ・安全衛生委員会を毎月開催[10回]</p> <p>(3) ア・支援教育コーディネーターによる配慮を要する生徒及び保護者への面談を確実に実施[3回] ・入学生の出身中学校訪問による生徒情報の把握とSSWの雇用と活用推進。 ・SSW等による講演会などの校内研修実施[2回]</p> <p>イ・生徒向け学校教育自己診断「就職・進学の指導や説明」肯定率90%以上をめざす[89.9%] ・就職一次内定率80%以上の維持[84.2%] ・年度末の就職率100%維持[100%]</p> <p>ウ・保健部を中心に保健だより[10号]や放送による予防啓発活動の実施</p>	<p>(1) ア・2年生(2021入学)D3ゾーン経年変化は1年で60→42で31.8%と1年次より減少した(○)。一方で、3年生(2020入学)は2年43→3年67で39.0%と悪化(△)。2年生後半から3年生へ向けて学習意識向上へ指導していく。 ・生徒の肯定率80.0%(○)</p> <p>イ ・M系「総合的な探究」で自動車系企業と連携し作業改善学習による省エネルギーに向けた取組みを実施。 ・M系「課題研究」で大産大と連携『ナノ水力発電の製作』と実験。E系では『植物工場の製作』を大阪サイエンスデーで発表。 ・1年キャリアガイダンスでSDGsカードゲームの製作、城工版SDGsポスター制作の教材を作成。工業技術基礎等では「城工電鉄」車両の製作教材を作成。 ・その他、企業連携で金属加工関係企業や地元企業探究などの取組み。図書部や城工房などでPBLを意識した取組みを進めている。生徒の主体性や表現力の向上につながっている(◎)</p> <p>ウ・資格試験受験者数489人(△)在籍者数が減少していることの影響が大きい。一方で合格率は66%と向上している(○)</p> <p>エ・オンライン委員会及びGIGA委員会でグループウェアの教員向け活用講習会を3回実施。授業等での活用が向上している。教員自己診断「ICT機器を活用している」91.3%(○)。 ・全教員が端末を所持している環境を整えた。ペーパーレス会議の導入やオンライン授業用端末とスタンドも全教室分整備した(◎)</p> <p>オ・英検受験者数延べ3級8名、準2級9名、2級3名の計20名(△)。在籍者数が減少していることも影響しているが、継続して指導していく。</p> <p>(2) ア・「授業は分かりやすく楽しい」肯定率79.6%(◎)</p> <p>イ・授業見学週間2回実施(○)校内研修は5回(○)10年研修10月、初任11月に実施。10月に外部実力テストの分析について校内研修を行った。SSW1回、SC1回やGIGA2回、ユネスコスクール研修2回。合わせて6回実施。</p> <p>ウ・授業アンケートなどを生かし教員は授業改善に努めている76.1%(◎)</p> <p>エ・平均超過時間25.8h(△) 昨年より教育活動への制限が緩和されたことも影響している。 ・安全衛生委は毎月開催できた(○)。男子休養室にスポットクーラー設置やノークラブデー、一斉退庁日を水曜に設定(◎)</p> <p>(3) ア・支援Coによる要配慮生徒への面談は確実に実施できている。支援委員会も開催。(○) ・相談室は週2回開室。昼食時の居場所としての機能も持たせている。相談室にエアコン設置(◎) ・入学生の出身中学校訪問により生徒情報を把握し、指導に活かしている(○)。SSWとSCによる教職員向け校内研修を計2回実施(○)</p> <p>イ・就職・進学の指導や説明についての肯定率91.7%と高い。インターンシップへの参加2名など個々の生徒に応じた丁寧な指導の結果が表れている(◎)</p> <p>・(◎) ・一次内定率91.4%(◎)、就職率100%(◎)</p> <p>ウ・保健だより3月末で10号発行(○)</p>
------------------------------	--	---	--	---

府立城東工科高等学校

<p>3 ものづくり・地域連携・キャリア教育の充実と開かれた学校づくり</p>	<p>(1) ものづくりを通じた地域貢献・保護者との連携による地域に根ざした学校づくりの推進</p> <p>(2) 学校の教育活動内容等をタイムリーに府民へ情報発信し、学校PRに努める</p>	<p>(1) ア・生徒による校内企業「城工房」等の地域交流や「企業連携事業」の推進、および各種競技会等への生徒の参加 イ・ものづくり教育への理解と深化を図るための保護者対象実習体験や、地元企業見学会の実施 ウ・小中学校や行政機関・大学との連携事業の実施</p> <p>(2) ・ホームページ・SNSを活用して、タイムリーな情報発信に努める ・生徒の出身中学校への訪問、中高連絡会、出前授業などを行い、生徒の情報収集、学校PRを行う ・本校での学校見学会や中学校教員向け説明会などを行い、学校のPRに努める</p>	<p>(1) ア・「城工房」その他による成果発表、種々競技会、産業教育フェア、地域イベント等への参加・実施回数等30回以上[25回] ・企業連携の取組み件数5件以上[5件] ・「城工メッセ」来場者数250人以上 [中止] イ・PTA実習研修、授業見学会、地元企業見学会の実施[企業見学会1回以上] ウ・小中学生対象の「ものづくり教室」や「出前授業」等の実施[8回]</p> <p>(2) ・ホームページ・SNSの発信を推進し、情報発信の頻度を増加する。特にSNS発信回数を30回以上[20回] ・教職員と生徒による中学校訪問件数合計100件以上をめざす[66件] ・学校説明会参加者数、中学校教員向け説明会の参加者を延べ350人以上をめざす(R01 343人、R02 330人、R03 282人)</p>	<p>(1) ア・定期開業 4/16 4/18 7/16 9/17 10/15 11/21 12/17 夢活事業連携 8/24 10/22 12/17 IOT環境改善事業 8/6 8/20 NPO法人連携 8/18 10/7 12/28 学校説明会実演 10/22 11/12 ふれあい祭り 5/8 マイコンカー&トロフィー 10/14 10/28 12/18 ショッピングモールものづくり教室 7/31 12/10 進学フェア 7/24 産業教育フェア 7/24 ショッピングモール演奏会 10/6 鴻池音楽演奏会 10/30 大阪サイエンスデー 12/18 野迫川村イベント参加 11/26 3月末までに30回(◎) ・「城工メッセ」コロナ禍により中止(△)。 企業連携 ・2年【総合的な探究の時間】で企業訪問を実施し、見学やインタビュー、ポスター作製(一部)を実施 ・自動車系企業との改善学習 ・鋳鉄溶解系企業及び鋳造学会との鋳造実習における研究・支援 ・工作機械メーカーからの技能検定3級マシンングセンタ作業における講師派遣4件(○)。成果として3級国家技能士に8人受験で全員合格。(◎) イ ・PTA実習研修は感染防止のため中止となったが、企業見学会は6・7月に2回実施。社会見学会、芸術鑑賞会を実施できた。コロナ禍の中、PTA活動を活発化。高い評価を得ている(◎) ウ ・中学への出前授業は3回実施。生徒会フリースクール3日間、モノづくり教室3回、合計9回。大産大と野迫川村のベンチ整備事業、小学生プログラミング教室補助、マイクロ水力発電製作(◎) (2) ・ツイッター74件(2月末)、HPの更新随時(◎) ・中学校訪問件数はコロナ禍で43件(△) ・説明会参加数382名(◎)</p>
---	--	--	--	--